

## 【ローマ人への手紙16章】

「私達も主の同労者！」



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

# SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2011.12.18 No.662

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

「彼らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアモン人、モアブ人、  
に向かった後もセイル山の人々を襲わせたので、  
彼らは打ち負かされた。」



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>

神の働きは単独行動ではできません。み体の働きです。パウロは多くの同労者によって支えられたことを感謝し、この章ではその人々に挨拶を送っています。主のために共に働いてくれる仲間です。2012年2月16日から2泊3日で白馬においてスネルゴイキャンプがあります。この“スネルゴイ”というのが同労者という意味です。( 賜物集中講座・動画映像のコンテスト・スキー・スノーボードがあり、神の働きをするために必要なことを共に学びます。是非ご参加ください。)

始めにフィベの名前が出てきますが、彼女は女執事で多くの人を助け、またパウロをも助けました。

「アクラとプリスカ」夫妻の名前も出ています。使徒18章に出てきた人です。彼らはローマでユダヤ人追放令が出た為、コリントに逃げてきた人で、そこでアクラとその妻プリスカはパウロに出会いました。天幕作りをしていて、パウロも同業者であったので、同じ家に住み、共に働きながら伝道しました。その後、一緒にエペソにわたり、パウロがカイザリヤに行った後もそこに留まって伝道し、アポロがエペソに来た時、自分の家に迎え入れて、バプテスマについての正確な教えをアポロに伝えています。伝道者を経済的に支えただけでなく、霊的な面に於いても力を持っていました。カイザリヤ、エルサレム、アンテオケに帰って行ったパウロは、再びエペソに来て、2年間伝道し、小アジアの拠点となる教会をつくりましたが、その基礎となったのはこの夫婦です。パウロと共に苦しみを分かち合った人たちで、4節「自分の命の危険を冒しても私の命を守ってくれた」と言われています。命がけで、パウロと共に福音のために働いた人たちです。

また、13節にはルポスとその母が載っていますが、その母は、イエス様の十字架を負わされたクレネ人シモンの妻だと言われています。シモンは自分から負ったというのではなく、強いられて負わされた十字架だったでしょうが、その妻も子供も、主にあって祝福を受けたのです。2月6日には殉教聖会が西坂の丘で行われますが、殉教していった聖徒の信仰もさらに学んでいきましょう。

26節には“**信仰の従順**”という言葉がありますが、第1章にもこの言葉が載っています。神の言葉に聞き従うということです。聞き従うことによって神のご計画は現されてきます。私達も主の同労者として召され、主に聞き従って、更に主のお働きにあずかれることはなんと光栄なことではないでしょうか！

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。